

## 行政文書・古文書保存管理講習会開催！！

2014.12.11（レポーター 宇都 綾子）

11月28日（金）、行政文書・古文書保存管理講習会が当館で開催されました。

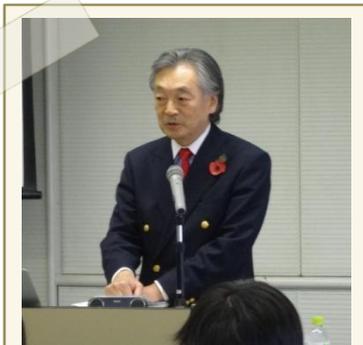
この講習会は、歴史資料として重要な公文書等の保存及び利用に関して、市町の文書事務取扱者及び関係者の知識の向上と業務推進を目的として毎年開催されています。

本年度は『職員と市民に歓迎される文書管理  
～文書管理改善のためのマネージメント・ツール「AKF」～』と題した講演会と、  
分科会報告として、『広島県の文書事務』（行政文書分科会）・  
『福山市史編さんと資料収集の継続性の課題』（古文書分科会）がそれぞれ開催されました。

広島県内だけでなく山口県からも！



当日は1県・15市町村・1大学の、  
総勢48名にご参加いただきました。



行政文書管理改善機構 / ADMic

廣田 傳一郎氏

午前中に行われた講演会『職員と市民に歓迎される文書管理 ～文書管理改善のためのマネージメント・ツール「AKF」～』では、全国80余りの自治体で導入実績のある「AKF」について廣田 傳一郎氏にご講演いただきました。

「AKF」とは、市民の皆様にも素早く資料を提供でき、かつ職員も仕事をしやすくする、「情報活用のための文書管理」の方法です。実際に導入した市町では、以前は文書を探すだけでかなりの時間を浪費したり、最悪の場合、担当者が不在だと見つけ出せない事もあったのですが、導入後は職員誰でも数十秒で見つけ出せるようになったそうです！合言葉は「机の上は滑走路」。まるで飛行機の滑走路のように、各自の机の上には何も無い（＝私物化しない）、情報を共有・利用しやすい環境作りの方法などをご紹介いただきました！

午後からは、各分科会に分かれての講習会を行いました。



皆さん、とても  
熱心に受講されています！

## 「広島県の文書事務」

広島県庁で実際に行われている事務処理（収受・起案・整理・保管・保存・廃棄、文書館への移管まで）を当館職員が具体的に紹介しました。



福山市市長公室秘書課市史編さん室

片岡 智氏

## 「福山市史編さんと資料収集の継続性の課題」

情報・資料収集、  
整理の実情とシステム作りの必要性  
などについてご紹介いただきました。

講習会を終えて…

受講者の声を  
一部ご紹介！

- 今まで当たり前のように考えていた文書管理だが、色々な考え方や方法があり、それを伝え実践していくことが文書管理主管課の役目だと感じました。（講演会）
- 今、執務室で起こっている課題を明確にすることができた。また、それを解決するためのヒントを得ることが出来た（講演会）
- 盛りだくさんの内容で資料を作りこまれていて大変参考になった。（行政文書分科会）
- 実際の収集の苦労や問題点が良く分かった。（古文書分科会）

※カッコ内は各受講会

文書管理とは「目的ではなく、利用するための手段」である、という講師の言葉が印象的でした。当館の資料も、皆さまにお気軽にご利用いただけるものであることを意識して、今後の業務に携わっていきたいと思います。